

令和4年度（2022年度）地学協働オンライン講座 その2 事業報告書

I 事業の概要

1 事業名

地学協働オンライン講座 その2 「はじめての地学協働のすすめ方講座」

2 開催日時

令和4年11月15日（火）13:30~16:00

事例発表の事前オンデマンド配信は10月4日（火）配信開始

3 開催場所

(1) 事例発表

動画投稿サイト YouTube による事前オンデマンド配信

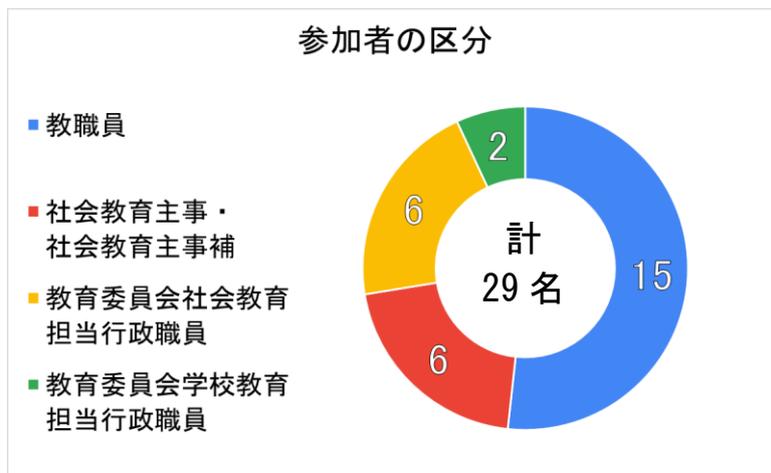
(2) Q & A・演習

オンライン会議システム Zoom によるオンライン開催

4 参加人数

29名（当日オンライン参加17名、事例発表視聴のみ12名）

5 参加者の区分



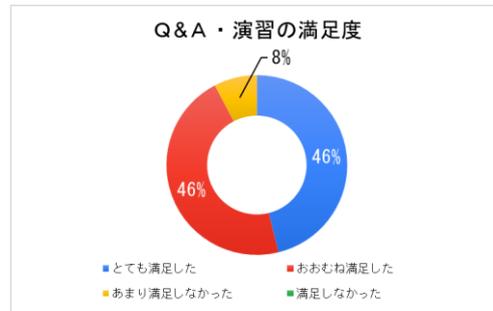
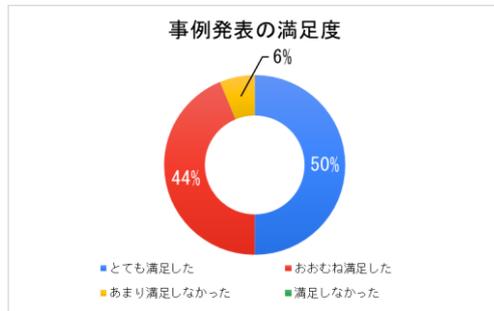
6 プログラム

事前 オンデマンド 配信	事例発表 学校の教育課題に対応した 地学協働の取り組みを紹介			
11/15 (火)	13:30	14:00	14:30	15:50 16:00
	入室	Q & A 事例発表への 質問や意見を 交換します	演習 各学校の教育課題や 取り組み事例をもとに 演習を行います	閉会

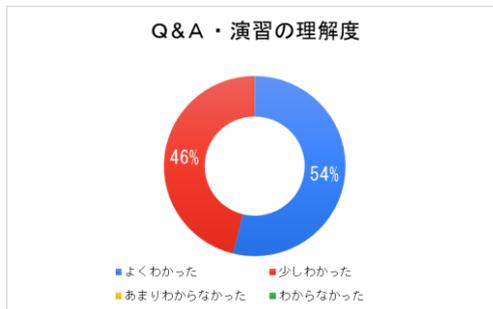
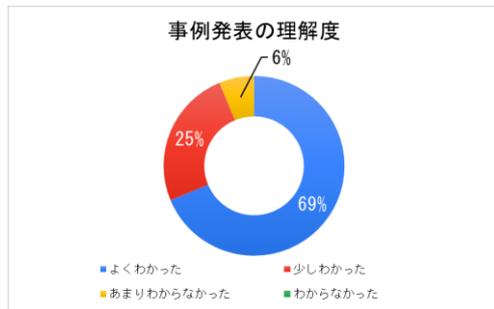
プログラム	講師等	内容
事例発表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 壮警町立壮警中学校 ・ 北海道幕別清陵高等学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校の地学協働の取り組みについて5分程度毎の動画に編集し YouTube にて限定公開
Q & A	<p>【講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 壮警町立壮警中学校 教頭 村井 淳一 氏 ・ 北海道幕別清陵高等学校 教諭 羽田野 圭介 氏 <p>【進行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道立生涯学習推進センター 社会教育主事 齊藤 萌 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例発表を見た参加者の質問や意見に対して、講師の視点から回答する
演習	<p>【進行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道立生涯学習推進センター 社会教育主事 齊藤 萌 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地学協働を進めるうえで大切なことをグループ毎にランキングを付け、全体で交流

II アンケート結果

1 満足度



2 理解度



3 地学協働を進めていくためにはどのようなことが大切だと思いましたか（自由記述）

- 地域を知る、地域で学ぶ、地域とともに歩む姿勢
- 学習の目的が生徒にしっかり理解され、生徒の主体性が原動力となること
- 地域と学校のビジョン（めざすゴール）の共有
- 教職員の共通理解は、大切だと思う。
- 様々な人が関わるので、幅広い視点が必要だと感じました。
- 地域、学校をつなぐために子供の姿を見せることが大切だと思いました
- 実施することで子どもたちにどのような影響があり、成長を見込めるか考えて実施内容を決めることが大切。
- 学校の教員、教育委員会の職員と、地域住民が信頼関係を築くこと。
- 地域とのビジョンの共有が大切で、そこまでに至る学校との連携が必要だと思います。
- 学校と地域住民の相互理解
- 学校と地域のビジョンの共有
- 大事なポイントが参考になりました。
- 地域課題と学校課題の共有（地域・学校・行政も）
- 学校と地域が何を目指すのか、生徒のどのような能力を伸ばすのかなど、共通認識を持つこと
- コーディネーターの役割
- 生徒に活躍の場を提供すること